

mini DISCLOSURE

ミニディスクロージャー誌 第96期 営業のご報告



氷川参道(さいたま市大宮区)

ごあいさつ

平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

株主さまをはじめお取引先の皆さまに、当行に対するご理解を一層深めていただければと、2019年3月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする本冊子を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

埼玉県では、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を来年に控えるなか、大規模な住宅開発や産業立地が進展するなど、経済は堅調に推移しております。

私ども武蔵野銀行は、本年4月より中期経営計画「MVP 70」をスタートさせました。この計画は、2013年に策定した10年間の長期ビジョン「埼玉に新たな価値を創造する地域No.1銀行」を総仕上げする4年間として、「お客さまと地域にずっと寄り添っていく銀行」「人を大切にし、人を成長させる銀行」に向け、これまでの6年間を通じ取組んできたビジネスモデルの変革を一層確かなものとしていくことを目指しております。

行員一人ひとりの専門性の向上と新業務・サービスの積極的な展開により、最適な課題解決提案を行うとともに、お客さま接点の更なる拡充やキャッシュレス化への取組強化などに努めております。

これらの取組みにあたりましては、締結4年目を迎えた「千葉・武蔵野アライアンス」と、本年3月に新たに参加した地方銀行最大の広域連携「TSUBASAアライアンス」を戦略的に活用し、お客さまサービスの一層の充実と地域への更なる貢献に繋げてまいります。

私ども地域金融機関を取り巻く環境は日々大きく変化しており、中長期的な視野に基づく持続可能なビジネスモデルの確立が強く求められております。加えて、業務改革による生産性向上、働き方改革などを迅速かつ着実に進めていかなければなりません。

そして、金融仲介機能の更なる発揮やお客さま本位の業務運営の一層の浸透、銀行経営の根幹をなす「信用」と「信頼」の維持向上といった社会的な要請も日々高まっております。

私ども武蔵野銀行では、これら多くの課題と社会的要請にお応えし続けていくため、コーポレートガバナンスの高度化と、法令・社会規範の遵守に向けた規律意識の一層の向上が必要不可欠と認識し、不断の努力をしていく決意です。

また、環境・社会・企業統治(ESG)の視点を経営の中心に据え、「武蔵野銀行SDGs宣言」で掲げました通り、持続可能な地域社会の創出に取組んでいく所存です。

当行は今後とも、創業以来変わらぬ「地域共存」「顧客尊重」の経営理念のもと、お客さま、株主さま、地域社会など、全てのステークホルダーの皆さまとともに持続的発展を目指し役職員一同弛むことなく研鑽に励んでまいります。

皆さま方からの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役会長
加藤 喜久雄

代表取締役頭取
長堀 和正

武蔵野銀行について

経営理念

- 「地域共存」 豊かな地域社会の実現に寄与し、地域とともに発展します。
- 「顧客尊重」 変化を先取りした果敢な経営を展開し、組織を挙げて最良のサービスを提供します。

ブランドメッセージ

More For You
もっと、街・暮らし・笑顔のために

- 武蔵野銀行は、これからも地域の皆さまと共に歩み、一層お役に立つことを目指してまいります。
- 私たちのこの想いをメッセージにしたものが、「More For You もっと、街・暮らし・笑顔のために」です。
- 「You」は、「地域社会の皆さま」「株主の皆さま」「銀行の仲間たち」「家族」など、私たち武蔵野銀行を取り巻くすべての方々のことを表現しています。

プロフィール

本店所在地 (登記上の本店所在地)	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
一時移転先住所 (2018年1月～)	さいたま市大宮区桜木町四丁目333番地13OLSビル
ホームページ	http://www.musashinobank.co.jp
設立	1952年3月6日
従業員数	2,171名 (2019年3月末現在)
イメージ キャラクター	ドリームテイルクーパー ©2012, 2019 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. G600659



武蔵野銀行のあゆみ

1952年 4月
資本金1億円、本店を大宮市
(現さいたま市)に置き8か店
で創業

1969年 10月
東証第二部に上場
(1970年8月東証第一部に上場)

2013年 1月
吉川支店開設により県内全市
(40市)支店網確立

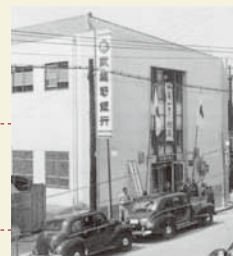
2013年 4月
長期ビジョン「埼玉に新たな価値を創造する地域No.1銀行」策定

2016年 3月
千葉・武蔵野アライアンス締結

2018年 6月
渋谷支店開設により全98か店となる

2019年 3月
TSUBASAアライアンスに参加

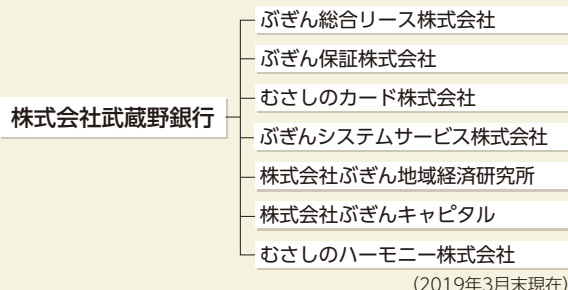
2019年 4月
中期経営計画「MVP 70」スタート



創業当時の本店(現大宮支店)

武蔵野銀行グループ

連結子会社



長期ビジョン「MVP」・中期経営計画「MVP 70」

長期ビジョン「MVP (Musashino Value-making Plan)」

埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』 ～Value-making Bank～

埼玉に新たな価値を生み出すことにより、埼玉の発展を主導し、
お客さまの期待に応えることで自らも成長する

実現に向けた10年工程

第1工程 (3年)

前々中期経営計画
「MVP 1/3 (ワンサード)」
(2013年4月～2016年3月)

「地域No.1銀行」に
向けた態勢強化

第2工程 (3年)

前中期経営計画
「MVP 2/3 (ツーサード)」
(2016年4月～2019年3月)

「地域No.1銀行」
として評価確立

最終工程 (4年)

中期経営計画
「MVP 70」

「地域No.1銀行」として
圧倒的地位を確立

中期経営計画「MVP 70」計画期間：2019年4月～2023年3月

目指す姿

お客さまと地域にずっと寄り添っていく銀行

人を大切にし、人を成長させる銀行

長期ビジョン完遂に向けて邁進

収益構造転換を確固たるものに

埼玉の地銀にふさわしい成長軌道

課題解決を通じて、お客さまの圧倒的な満足と本業収益（資金収益・役務収益）をいただき、
地域の発展のために再投資していくビジネスモデルを徹底的に追求していく

具体的戦略

成長戦略

- ・地域No.1のソリューションに向けたセグメント別の営業態勢への転換
- ・法人のお客さまへの取引深度の向上・永続的取引の追求

- ・個人のお客さまのライフプランに寄り添った生涯にわたるサポート
- ・人とデジタルの融合によるお客さま接点拡充

人材戦略

アライアンス戦略

創造戦略

有価証券戦略

グループ戦略

インフラ・態勢構築

経営管理態勢・コンプライアンス・ESG/SDGs

千葉銀行との包括連携「千葉・武蔵野アライアンス」は4年目を迎え、多くの分野での連携・協働が加速しています。これからもお客さまサービスの一層の向上と地域活性化への更なる貢献に向け取組んでまいります。

主な取組み

2018年

- ・ 浜松町オフィス開設（営業拠点の共同設置）
- ・ 「ぶぎん・ちばぎん物産市」開催（地産地消支援の取組み）
- ・ シンガポール駐在員事務所開所

2017年

共同出資会社「千葉・武蔵野アライアンス株式会社」設立

- ・ 人材育成における協働開始
- ・ 証券仲介業務における協働開始
- ・ 一埼玉県内にちばぎん証券4拠点開設
- ・ 相続関連業務における協働開始
- ・ 2行共同ATMの設置（埼玉県・千葉県・東京都）
- ・ 千葉・武蔵野アライアンス1号投資事業有限責任組合設立（事業承継支援の取組み）



ぶぎん・ちばぎん物産市

2016年

千葉・武蔵野アライアンス締結

- ・ 取引先の相互紹介・ビジネスマッチング開始
- ・ シンジケートローン等における連携開始
- ・ 国際業務における連携開始

- ・ 千葉・武蔵野パートナーファンドの設立（事業再生支援の取組み）
- ・ アセットマネジメント業務での協働開始（投資信託商品の組成・販売）



千葉・武蔵野アライアンス締結（2016年3月）

TSUBASAアライアンス

2019年3月、地方銀行最大の連携の枠組みである「TSUBASAアライアンス」に参加しました。規制緩和を踏まえた新事業のほか、金融システムの高度化など新たな経営課題に対し、協働して取組んでいきます。



（2019年5月、滋賀銀行が参加し、9行になりました）



連携目的

- ・ 地域の持続的な成長や金融システムの高度化
- ・ 参加行グループの企業価値の増大に資する連携施策の立案・推進
- ・ 参加行のトップラインの増強、コスト削減に寄与する施策の立案・推進

主な施策

- ・ コスト削減、サービス高度化に繋がるプラットフォーム構築
- ・ キャッシュレス化、フィンテック、デジタル化の取組み
- ・ 海外関連業務での連携
- ・ SDGs達成に向けた取組み（TSUBASA SDGs宣言）

経営管理態勢の高度化に向けた取組み

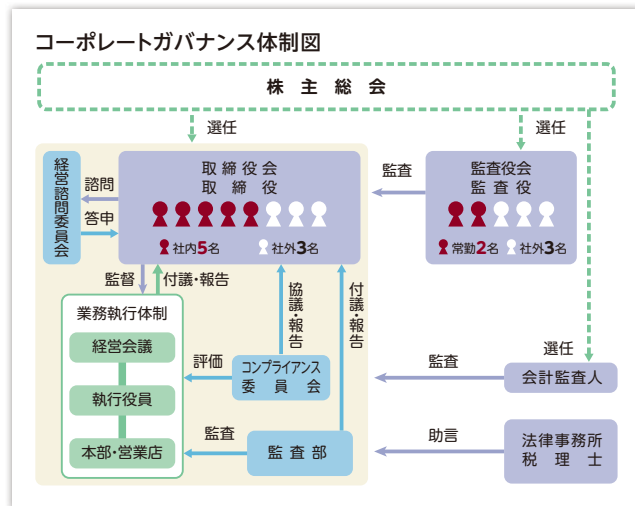
コーポレートガバナンスの充実を持続的成長と企業価値向上の源泉であると位置付け、取組みを強化しています。あわせて、銀行に求められている社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンス（法令遵守）体制の強化に継続的に取り組んでいます。

コーポレートガバナンスの充実

コーポレート・ガバナンスの充実を経営の重要課題と認識し、法令や規程を遵守するとともに、取締役会及び監査役会において取締役の職務執行について厳正な監視を行っています。

豊かな知見と経験を有した社外取締役3名と社外監査役3名を選任し、取締役の職務執行に係るモニタリング・監査に加え、取締役会への出席等を通じ、独立・中立の立場で幅広い視野から積極的に経営に関する意見表明・助言等を行うことで経営監視機能の客観性・中立性を確保しています。

あわせて、執行役員制度のもと、取締役の員数をスリム化し迅速な経営判断を可能としています。



(2019年6月)

コーポレートガバナンスに関する基本方針を開示しています

当行ではコーポレートガバナンスに関する基本方針を定め開示しております。この基本方針に基づき、最良のコーポレートガバナンスの実現に向け、株主の皆さまとの建設的な対話や公平かつ適時・適切な情報開示などに努めております。

<http://www.musashinobank.co.jp/company/>

コンプライアンス（法令遵守）体制の強化

当行では、社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンスの徹底を経営の重要課題の一つと位置付け、経営陣自ら積極的に関与し、体制の整備や指導方法の確立など、体制強化に取り組んでいます。

今後につきましても、確固たる倫理観と誠実さを基本とした企業行動と自己責任原則に則った経営姿勢を一段と強め、日常業務や自らの行動における法令や社会規範等の遵守を実践してまいります。

反社会的勢力排除の取組み

反社会的勢力排除の基本方針を定め、反社会的勢力との一切の関係遮断に向けて取り組んでいます。反社会的勢力排除の基本方針は、ホームページに開示しております。

<http://www.musashinobank.co.jp/antisocial/>

お客さま本位の業務運営の実践

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」のもと、お客さま一人ひとりの資産運用に関するご要望に真摯にお応えしていくため、専門人材の育成や提案ツールの高度化、セミナー等を通じた情報提供に積極的に取り組んでいます。

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

お客さまの最善の利益の追求	利益相反の適切な管理	手数料等の明確化
重要な情報の分かりやすい提供	お客さまにふさわしいサービスの提供	従業員に対する適切な動機づけの仕組み等

具体的な取り組み

セミナーで様々な情報を提供

- ・「相続」「贈与」「遺言信託」「介護」などお客さまのライフプランのヒントとなるセミナーを毎月開催しています。
- ・開催店舗は63カ店に拡大しており、これまで360回、約2,100の方にご参加いただいております。



専門知識を有する人材の育成

- ・お客さまの最善の利益の追求に向け、誠実かつ公正な提案を実践できる人材の育成に注力しています。
- ・業務を通じた育成のほか、研修や休日セミナーなどを実施し、ファイナンシャルプランナーなどの資格取得をサポートしています。

ファイナンシャルプランナー 1級 122名
ファイナンシャルプランナー 2級 1,218名
2019年4月末現在

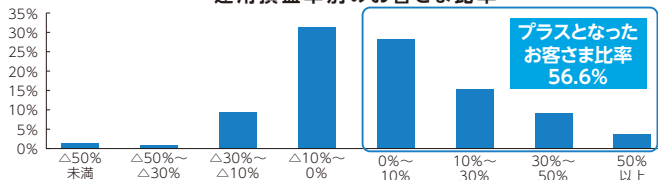
最適なポートフォリオ提案に向けて

- ・お客さまの資産状況、取引経験、知識、取引目的、ニーズ等を十分お伺いしたうえで、最適な商品、サービスをご提案しています。

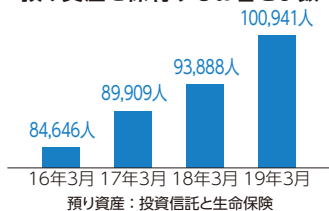
取組状況

お客さまの中長期的な資産形成に向けた最適なご提案に取組み、2019年3月末時点における投資信託の運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は56.6%となりました。また、平均の運用損益率は5.5%となりました。

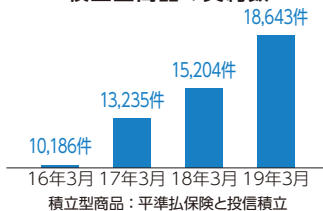
運用損益率別のお客さま比率



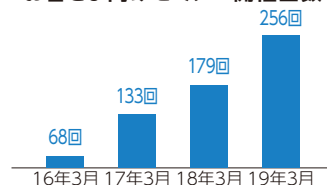
預り資産を保有するお客さま数



積立型商品の契約数



お客さま向けセミナー開催回数



お客さま本位の業務運営実現に向けた取組状況につきましてはホームページをご覧ください

<http://www.musashinobank.co.jp/company/fiduciary>

地域密着型金融の推進

地域密着型金融の推進こそが当行の使命であると認識し、お客さまに対する円滑な資金供給や本業支援の実践に取り組んでおります。また、その取組状況をホームページ等で定期的に公表しています。

■お客さまとのリレーション強化

お客さまとの顔の見える関係を活かしながら、様々な課題の解決に取り組んでいます。

	2017年3月	2018年3月	2019年3月
メイン取引 (融資残高1位) 先数及び 全取引先数に 占める割合 メイン取引 (融資残高1位) 先数 全取引先数に 占める割合	10,279社	10,343社	10,330社
	40.7%	41.1%	40.6%
本業（企業価値の向上） 支援先数	2,529社	2,831社	4,623社
ソリューション提案先数	3,361社	3,549社	5,413社

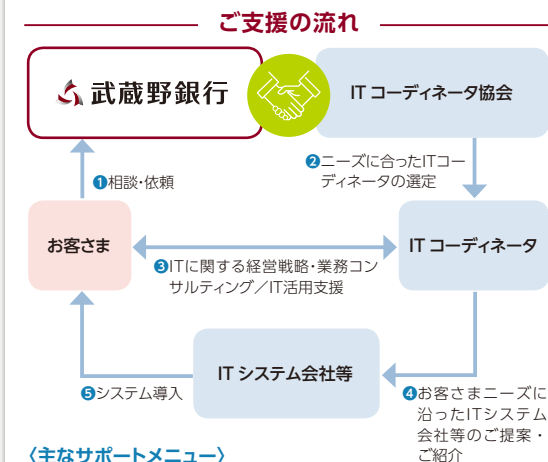
■ 企業のライフサイクルに応じた
最適なソリューションの提供

1社1社の成長ステージごとに、最適なソリューションをきめ細かく提供しています。

	2017年3月	2018年3月	2019年3月
当行が関与した創業件数	706件	746件	800件
販路開拓支援先数(国内外)	939社	1,260社	1,769社
セミナー・商談会の開催	26回	30回	84回
M&A支援先数	90社	96社	100社
事業承継支援先数	158社	108社	121社
転廃業支援先数	12社	9社	12社

ITを活用した経営革新支援
～NPO法人ITコーディネータ協会との連携～

- ・2019年3月、県内金融機関で初めて、NPO法人ITコーディネータ協会と「包括的連携・協力に関する協定」を締結しました。
- ・お取引先企業の生産性向上や営業強化に向け、ITを活用したデジタル化戦略のアドバイスやシステム導入までワンストップの支援を行っています。



〈主なサポートメニュー〉

資金一元管理システム	品質管理	受発注管理
財務会計	人事給与	販売管理
顧客管理	商品管理	在庫管理
その他 具体的な IT 化		

- ・ITコーディネータとはITを経営の力として活用する企業を支援する専門人材です。
- ・ITコーディネータ協会とは、ITコーディネータの育成・普及活動や、自治体や支援機関と連携した中小企業支援の活動を展開している特定非営利活動法人(NPO法人)です。

■ 事業性評価を活用した コンサルティングの強化

事業性評価を活用するとともに、経営者保証ガイドラインを遵守し、担保や保証に過度に依存しない融資の推進と経営支援の強化に努めています。

	2017年3月	2018年3月	2019年3月
事業性評価に基づく融資先数	4,122社	4,937社	5,365社
ABL(動産担保融資)の取扱状況	117社	133社	160社
経営者保証ガイドライン対象先に占める 無保証先数の割合	9.4%	11.4%	13.3%
地元の中小企業向け融資のうち 無担保融資残高の割合	52.5%	54.8%	55.9%

ものづくり企業の経営・技術革新をサポート

- ・製造業の皆さまの経営・技術革新や生産性向上に向けた取組みを継続的に行っています。
- ・業界の最新動向などを紹介する「ものづくり経営塾」に加え、デジタル化に対応したより専門性の高い取組みを支援する「デジタルアカデミー」を開催し、好評いただいています。

最新動向の紹介・機会創出

ものづくり経営塾(2015年より)

13回開催

のべ850人参加

人材育成・生産性向上

デジタルアカデミー(2018年より)

経営面

マネジメントアカデミー

技術面

エンジニアリングアカデミー

業界の最新動向や取組み事例を紹介 ～ものづくり経営塾～

- ・「ものづくり経営塾」では、デジタル化やIT・IoTの活用など製造業における最新動向や先進企業の取組み事例をテーマとした講演のほか、参加企業の交流機会を創出し、ものづくり企業を多面的に支援しています。

デジタル化を通じた競争力向上 ～デジタルアカデミー～

- ・2018年8月より、競争力強化に繋がる専門的な取組みを支援する「ものづくりワーキング～デジタルアカデミー～」を開催しています。
- ・デジタルアカデミーでは、経営と技術の2つのワーキングで、ITコーディネータや大学と連携し、デジタル化に対応した人材の育成や自動化技術を活用した生産性向上に取組んでいます。

デジタルエンジニアリングアカデミーでは、東洋大学と連携し、企業の視察やIoTキットを使った実習など、生産性向上に向けた支援を行っています。



地域密着型金融への取組状況の詳細につきましてはホームページをご覧ください

<http://www.musashinobank.co.jp/company/rsbanking>

ESGおよびSDGsの取組み



当行では、環境(Environment)・社会(Social)・企業統治(Governance)という「ESG」の視点を、銀行経営に積極的に採り入れ、持続可能性(サステナビリティ)に配慮した取組みに注力しています。こうした取組みの更なる深化と、一層の地域への貢献を目指し、2019年3月、「武蔵野銀行SDGs宣言」を制定しました。今後もステークホルダーの皆さまと手を携えながら持続可能な地域社会の実現に向け取組みます。

武蔵野銀行SDGs宣言

武蔵野銀行はSDGs(国連「持続可能な開発目標」)の目標達成に貢献するため、グループ全役職員が取組むことを宣言します。

- ・ 地域経済の持続的発展に貢献するため、金融仲介機能を発揮するとともに、お客さま本位の業務運営を常実践します。
- ・ 産業や雇用、まちづくりや生活など、持続可能な地域社会の創造に貢献するため、行政・企業・NPOなど多様な主体とのパートナーシップのもと取組みを行ってまいります。
- ・ 気候変動や人権などの課題を自分ごとと捉え、グローバルな持続可能性に貢献します。

◆ 目指すべき姿(重点領域)

宣言に基づき、SDGsの17の全ての目標の重要性を認識したうえで、武蔵野銀行グループが目指すべき姿を以下の通り設定しています。

持続的成長の源泉としての企業統治

企業統治を持続的成長の源泉と位置づけ、創業以来不変の経営理念に基づく確固たる銀行経営を志向します。

対応する
SDGsの
項目



持続可能な地域社会

地元産業のイノベーションや地産地消の促進、快適かつ強靱なまちづくりに貢献し、持続可能な経済成長を実現します。

対応する
SDGsの
項目



いつまでも自分らしく暮らせる地域社会

全ての人が自分らしく、健康で幸福に生活できる社会をつくるため、積極的な取組みを行います。

対応する
SDGsの
項目



気候変動への対応と生物多様性の維持向上

地球規模の気候変動に対応するとともに、地域の豊かな生物多様性の維持向上に取組みます。

対応する
SDGsの
項目



◆ 具体的な取組み

目指すべき姿の実現に向け、以下の項目を中心とした様々な取組みを積極的に行ってまいります。

- ・ 投融資を通じ、取引先の持続可能な企業行動への働きかけを行います。
- ・ 産業振興や地方創生の基盤（プラットフォーム）を構築します。
- ・ 都市の再生、郊外住宅地の再活性化、中山間部の観光振興等に取組みます。
- ・ 健康経営を実践します。
- ・ 全ての世代の皆さまに対する金融経済教育に注力します。
- ・ 埼玉の豊かな生物多様性を次世代に継承する取組みを率先して行います。

SDGsの17目標と 当行のこれまでの主な取組み

3 すべての人に健康と福祉を - 医療・福祉分野の取組み - 従業員の健康増進 - がん啓発	1 貧困をなくそう - 若年層の資産形成支援 - 金融経済教育	2 飢餓をゼロに 農業分野の取組み
6 安全な水とトイレを世界中に 公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」	4 質の高い教育をみんなに - SDGs私募債 - 金融経済教育 - 文化・スポーツ振興	5 ジェンダー平等を實現しよう ダイバーシティ推進
9 産業と技術革新の基盤をつくろう - ものづくり等支援 - 産学連携 - 創業・起業支援 - ソリューション提供	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに - 再生可能エネルギー事業の支援 - EV(電気自動車)化への取組み	8 働きがいも経済成長も - 地域密着型金融の推進 - 地方創生 - 働き方改革
12 つくる責任つかう責任 - グリーン購入の実施 - リサイクル等の取組み	10 人や国の不平等をなくそう - ダイバーシティ推進 - あらゆる人々への差別ないサービス提供	11 住み続けられるまちづくりを - PFへの取組み - 再開発・企業誘致支援 - 良好な住環境創出
15 陸の豊かさも守ろう - 拠点の J-HEP 認証 - 環境ボランティア活動 - ペーパーレス化 - 公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」	13 気候変動に具体的な対策を - 再生可能エネルギー事業の支援 - 省エネ・低炭素化	14 海の豊かさを守ろう 公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」
	16 平和と公正をすべての人に - 反社会的勢力への対抗 - テロ資金供与対応 - 金融犯罪防止 - マネーロンダリング対応 (FATF)	17 パートナシップで目標を達成しよう - 地公体、商工団体、教育機関、NPO等との連携 - 金融機関や他業態との連携



地方創生へ向けて

地域のさまざまな課題解決と新たな価値創造に向け、関係者の皆さまと連携しながら積極的な取組みを行っています。



地域の課題解決に向け連携・協働

まちづくり

ひとづくり

しごとづくり

TOPICS

2019年4月、自治体の「移住・定住施策」を支援するため、「千葉・武蔵野アライアンス移住セミナー」を開催しました。秩父市、横瀬町、小鹿野町と千葉県館山市および地元団体の協力のもと、パネルディスカッションや個別相談会を行い、約60人の方にご参加いただいております。



▶移住セミナー

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR

TOWN

持続可能な地域社会に向けて ～むさしのSDGs私募債「みらいのちから」～

私募債を発行される企業さまから受取る手数料の一部で、ご指定いただいた学校等への書籍などの寄贈や、SDGsの目標に向け取り組むNPO法人等への寄付を行っています。

発行企業さま



SDGs私募債発行

寄付・寄贈

武蔵野銀行

学校法人 公益財団法人
特定公益増進法人 NPO法人
各種基金 一般法人 など



企業の皆さまの継続的发展に向けて ～M&Aサポートサービス～

地域雇用の維持・創出に貢献するため、M&Aを活用した事業の多角化や円滑な事業承継のサポートを積極的に行っています。

会社を譲渡したい

事業領域を拡大したい

親族や社員に後継者がいない



〈M&Aサポートメニュー〉

M&Aに関する情報収集

相手先企業との
マッチングと利害調整

交渉のサポート

実務面のアドバイス

まちづくりをサポート

大宮駅東口の再開発など地域の未来に向けたまちづくりを支援しています。

学校など地域になくてはならない施設の更新・整備のため実施されるPFI事業を積極的にサポートしています。



大宮区役所新庁舎



©Tokorozawa MUSE

所沢市民文化センター ミューズ
アークホール

TOPICS

株式会社ベンチャーウイスキーと 業務連携・協力に関する契約を締結

2019年3月、「イチローズモルト」で全国的な知名度を有する株式会社ベンチャーウイスキーと6分野の「業務連携・協力に関する契約」を締結しました。



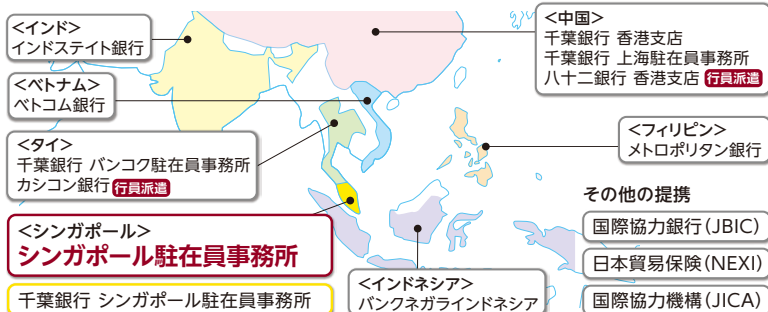
内容

- ・県内農業の振興
- ・まちづくり
- ・官民連携の推進
- ・秩父地域の観光振興
- ・産業・経済の振興
- ・その他、地域活性化の推進

海外進出や事業展開を支援

シンガポール駐在員事務所を中心に、現地のニーズに機動的にお応えしています。
また、公的機関を含む海外ネットワークを通じ、きめ細かな支援を行っています。

〈シンガポール駐在員事務所を中心としたネットワーク〉



TOPICS

埼玉県内企業の海外ビジネス支援に関する業務協力協定

2019年2月に締結した本協定のもと、埼玉県サポートデスクとの連携などを通じ、県内企業の海外事業を支援しています。

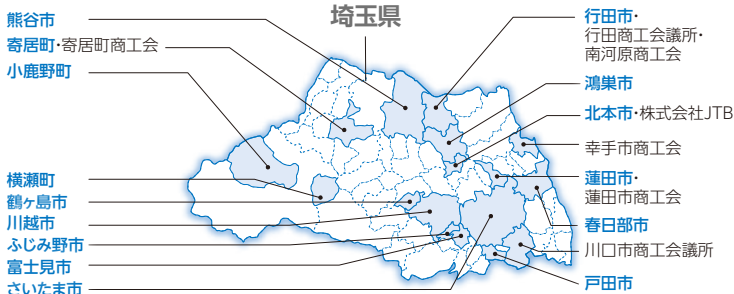
上海 タイ ベトナム インドネシア



地方公共団体との連携・協働

地域活性化や住民サービス向上に向け、地方公共団体等との連携を進め、さまざまな取組みを展開しています。

〈包括協定の締結〉



TOPICS

きたもと桜マルシェin大宮駅

2019年3月、北本市とのまちづくりに関する包括連携協定に基づく取組みとして、大宮駅東西連絡通路で、「きたもと桜マルシェ」を北本市観光協会と共催しました。



More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR LIFE

相続関連業務

～多様なニーズへの最適なご提案～

多様化・高度化するお客さまの相続ニーズにお応えるため、最適なご提案を行っています。

むさしの 遺言代用信託

相続発生時に必要なご資金をあらかじめ指定された受取人さまお一人のお手続きでお渡しすることができます。

〈仕組み〉



相続手続きに苦勞を
かけたくない

法定相続人以外に
資産を遺したい

特定の相続人に
特定の資産を遺したい

相続手続きをする
時間がない

相続人が多い

相続人が遠隔地に
居住している

むさしの 遺言信託

遺言の作成から保管、ご相続発生後の相続財産の名義変更、解約や換金手続きまでトータルでサポートします。

むさしの 遺産整理業務

相続財産の調査、財産目録・遺産分割協議書の作成や名義変更、解約や換金手続きまでトータルでサポートします。

TOPICS

信託業務の兼営認可を取得

2019年3月、お客さまの相続や円滑な資産承継ニーズにお応えるため、県内に本店を置く金融機関として初めて、信託業務の兼営認可を取得しました。



資産や事業の承継に関する独自のサービスラインナップ

～「まもる」・「つなぐ」お手伝い～

相続発生までのご資産を家族信託で守ります

🏠 むさしのファミリー信託サポート

家族信託の仕組みを活用し、年齢を重ね認知症などで判断が難しくなった場合の財産管理や資産承継を総合的に支援します。

経営会社の承継もサポートします

🏢 むさしの事業承継サポート

個人の資産のほか、事業用資産の承継も含め、ワンストップで支援しています。

相続全般のお悩みに応えます

🔒 むさしの資産承継サポート

お客さまの大切な資産を円滑に承継するため、一人ひとりに最適なプランの作成からお手続きまでワンストップでお応えします。

一人ひとりの暮らしに寄り添う スマートフォンアプリ

武蔵野銀行アプリ

かんたん残高照会

インターネットバンキングのご契約がなくても、
24時間「いつでも、どこでも」普通預金の残高・
入出金明細の照会ができます。

県内で使えるお得なクーポン

グルメやレジャーなど130種類
以上の便利でお得なクーポンを
ご利用いただけます。



キャンペーンおすすめ情報

大宮アルディージャ・埼玉西武ライオンズのグッズや観戦
チケット等が当たるプレゼント企画を配信しています。

自動貯金 finbee

貯金するタイミングと金額を設定するだけでお客さまの
口座に自動的に貯金します。

保険ロボアドバイザー

プロフィールの入力と簡単な質問に答えることで、自分に
あった最適な保険がデザインいただけます。

1万円からの新しい資産運用 (THEO+ 武蔵野銀行)

簡単な質問に答えるだけで、自分にあった資産運用を1万円
から始められます。

かんたん家計簿 zaim

節約・貯蓄に役立つ家計簿サービス「Zaim」をご利用いた
だけます。



キャッシュレス化への取り組み ～より便利にご利用いただけます～



スマホ決済サービスとの連携

スマホから簡単に口座からの電子マネーチャージや決済
代金の支払いなどができます。

LINE Pay

YAHOO! JAPAN ウォレット



J-Coin Pay



PayB for 武蔵野銀行

振込票のバーコードを読み取るだ
けで公共料金・税金等をスマホ
から簡単にお支払いいただけ
ます。



〈PayBをご利用いただける自治体〉 2019年5月末現在

上尾市 入間市 桶川市 熊谷市 鴻巣市 狭山市
白岡市 秩父市 蓮田市 飯能市 日高市 深谷市
ふじみ野市 三郷市 羽生市 (15市)

伊奈町 小鹿野町 越生町 神川町 川島町
上里町 ときがわ町 鳩山町 長瀬町 皆野町
宮代町 三芳町 毛呂山町 横瀬町 (14町)

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR

▶ SMILE

金融経済教育の取組み

お金の大切さや社会における銀行の役割を学ぶことのできる金融教室や職場体験を積極的に開催しています。

夏休み小学生向け金融教室
「武蔵野銀行のお仕事体験」参加者



10年間 712名



多様な人材が活躍できる社会へ

～特例子会社「むさしのハーモニー株式会社」～

障がいのある方の活躍の場の拡大を目的に設立した「むさしのハーモニー株式会社」では、現在6名の社員が活躍しており、名刺印刷やノベルティ作成などの業務を行っています。一人ひとりの得意分野を活かすとともに、しっかりとしたサポートを行うことで全ての社員がいきいきと働くことができる職場づくりに努めています。



健康で幸せに生活できる社会に向けて

地域の皆さまが健康に暮らしていける地域社会の実現に向け、ウォーキングイベントなどへの協力を行っています。



第7回「さいたまマーチ」

TOPICS

健康経営宣言の策定と健康経営普及推進事業への協力

2019年1月、役職員の健康維持・増進を支援し、お客さま一人ひとりにより親身な対応とサービスを提供するため「健康経営宣言」を策定しました。あわせて、健康経営埼玉推進協議会と連携し、法人のお客さまの健康経営の取組みを支援しています。

TOPICS

皆さまの満足度向上のために

さいたま市とともに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年までに市民満足度(CS)90%以上を目指す「さいたま市CS90運動」に取り組んでいます。



もっと身近に、
もっとしあわせに



「さいたま市CS90運動」共同宣言式

未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援 ～文化・芸術活動～

音楽の素晴らしさを提供するため、ヴァイオリニストの吉田恭子さんにご協力いただき、地元小学校の音楽室でコンサートを開催しています。



子どもたちの豊かな心を育むため、劇団四季と一般財団法人舞台芸術センターが主催する「こころの劇場」埼玉公演を応援しています。



「はだかの王様」(東松山公演)
終演後のお見送りの様子

TOPICS

地域社会に感謝を込めて

創業65周年記念事業としてさいたま市大宮区の武蔵一宮氷川神社に狛犬を奉納しました。今後も地域社会の活性化に向けて取り組んでいきます。



地域のスポーツ振興

スポーツ振興を通じた地域活性化に貢献するため、地元のサッカークラブや野球チーム、卓球チームを応援しています。



地元出身の アスリートを支援

さいたま市出身のアスリート松井隆弥選手がテコンドー競技に専念できる環境づくりなどのサポートを行っています。



豊かな生物多様性を 次世代へ受け継ぐために

自然環境保全・創出に向けた活動を支援するため、「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」による助成のほか、従業員の環境教育を積極的に行っています。

公益信託武蔵野銀行みどりの基金助成実績

約 277 団体 7,000 万円



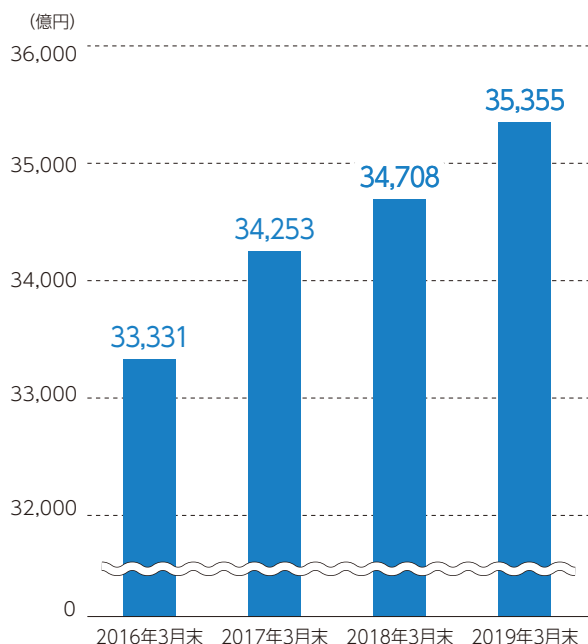
2019年公益信託武蔵野銀行みどりの基金助成金贈呈式



新入行員による自然環境保全活動

貸出金の状況

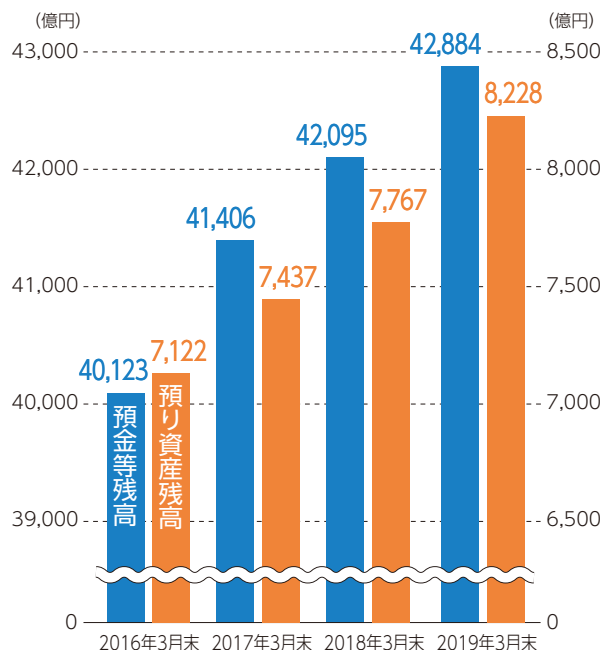
貸出金残高 **3兆5,355億円**



貸出金残高は、法人・個人ともに、お客さまのニーズに積極的にお応えしてまいりました結果、前年比 646 億円（年率 1.8%）増加し、3 兆 5,355 億円となりました。

預金等・預り資産の状況

預金等残高 **4兆2,884億円**
預り資産残高 **8,228億円**



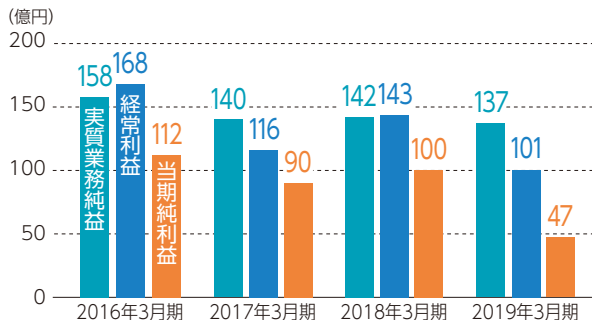
預金等残高は、前年比788億円（年率1.8%）増加し、4兆2,884億円となりました。
 預り資産残高は、前年比460億円（年率5.9%）増加し、8,228億円となりました。

預金等……預金に譲渡性預金を加えたものの合計。
 預り資産…投資信託、生命保険、国債等の合計。投資信託は時価ベース、生命保険は販売累計額。

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

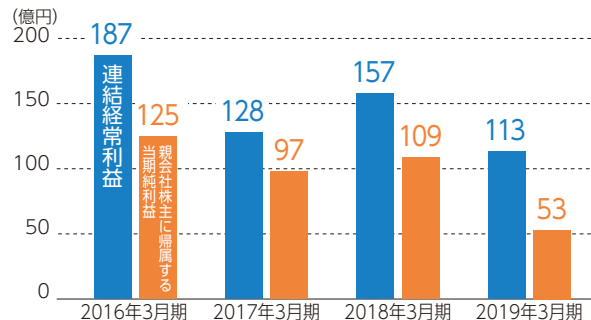
損益の状況

(単体)	実質業務純益	137億円
	経常利益	101億円
	当期純利益	47億円



実質業務純益は137億円、経常利益は101億円、当期純利益は47億円となりました。

(連結)	経常利益	113億円
	親会社株主に帰属する	
	当期純利益	53億円

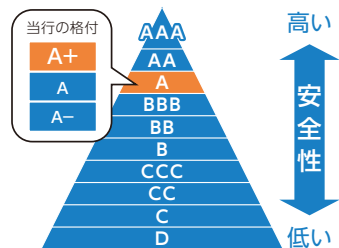


連結経常利益は113億円、親会社株主に帰属する当期純利益は53億円となりました。

格付(長期発行体格付)

長期発行体格付

A+



(格付の公表:2019年3月18日)

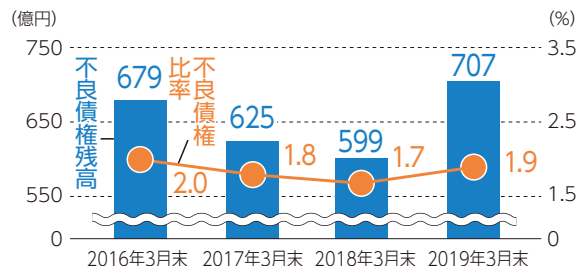
※「A+」は、「債務履行の確実性が高い」という投資適格の評価です。

当行は、株式会社日本格付研究所から銀行の総合的な債務履行能力を評価する「長期発行体格付」について「A+」を取得しております。

不良債権の状況

不良債権比率

1.9%



不良債権残高は707億円、不良債権比率は1.9%となりました。

※不良債権残高は四捨五入で表示しています。

自己資本比率

連結	8.40%
単体	8.10%

自己資本比率は連結8.40%、単体8.10%となり、引き続き高い健全性を堅持しております。

貸借対照表

(単位:百万円)		(単位:百万円)	
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	337,345	預金	4,131,049
買入金銭債権	12,634	譲渡性預金	157,430
商品有価証券	62	コールマネー	30,522
金銭の信託	1,490	債券貸借取引受入担保金	21,151
有価証券	656,262	借用金	33
貸出金	3,535,507	外国為替	199
外国為替	2,560	その他負債	12,972
その他資産	22,127	賞与引当金	1,100
有形固定資産	35,352	退職給付引当金	3,420
無形固定資産	3,810	睡眠預金払戻損失引当金	493
前払年金費用	8,212	偶発損失引当金	198
支払承諾見返	4,200	株式報酬引当金	67
貸倒引当金	△ 18,618	固定資産解体費用引当金	611
		繰延税金負債	2,358
		再評価に係る繰延税金負債	4,227
		支払承諾	4,200
		負債の部合計	4,370,037
		(純資産の部)	
		資本金	45,743
		資本剰余金	38,351
		資本準備金	38,351
		利益剰余金	122,741
		利益準備金	10,087
		その他利益剰余金	112,653
		自己株式	△ 906
		株主資本合計	205,929
		その他有価証券評価差額金	18,082
		繰延ヘッジ損益	△ 1,453
		土地再評価差額金	8,286
		評価・換算差額等合計	24,915
		新株予約権	66
		純資産の部合計	230,911
資産の部合計	4,600,949	負債及び純資産の部合計	4,600,949

損益計算書

(単位:百万円)	
経常収益	65,194
資金運用収益	41,545
(うち貸出金利息)	(33,192)
(うち有価証券利息配当金)	(8,139)
役務取引等収益	13,040
その他業務収益	846
その他経常収益	9,762
経常費用	55,055
資金調達費用	2,583
(うち預金利息)	(788)
役務取引等費用	4,402
その他業務費用	1,646
営業経費	33,514
その他経常費用	12,907
経常利益	10,139
特別利益	1
特別損失	455
税引前当期純利益	9,686
法人税、住民税及び事業税	5,385
法人税等調整額	△ 399
法人税等合計	4,985
当期純利益	4,700

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

(資産の部)	
現金預け金	347,398
買入金銭債権	12,634
商品有価証券	62
金銭の信託	1,490
有価証券	654,380
貸出金	3,522,130
外国為替	2,560
リース債権及び リース投資資産	21,320
その他資産	34,473
有形固定資産	36,767
無形固定資産	3,910
退職給付に係る資産	6,732
繰延税金資産	1,004
支払承諾見返	4,200
貸倒引当金	△ 23,023
資産の部合計	4,626,044

(単位:百万円)

(負債の部)	
預金	4,125,430
譲渡性預金	157,430
コールマネー及び売渡手形	30,522
債券貸借取引受入担保金	21,151
借入金	10,933
外国為替	199
その他負債	24,519
賞与引当金	1,148
役員賞与引当金	9
退職給付に係る負債	3,542
役員退職慰労引当金	30
利息返還損失引当金	44
睡眠預金払戻損失引当金	493
ポイント引当金	85
偶発損失引当金	198
株式報酬引当金	67
固定資産解体費用引当金	611
繰延税金負債	1,983
再評価に係る繰延税金負債	4,227
支払承諾	4,200
負債の部合計	4,386,830
(純資産の部)	
資本金	45,743
資本剰余金	38,291
利益剰余金	131,563
自己株式	△ 906
株主資本合計	214,692
その他有価証券評価差額金	18,391
繰延ヘッジ損益	△ 1,453
土地再評価差額金	8,286
退職給付に係る調整累計額	△ 1,087
その他の包括利益累計額合計	24,137
新株予約権	66
非支配株主持分	318
純資産の部合計	239,214
負債及び純資産の部合計	4,626,044

連結損益計算書

(単位:百万円)

経常収益	77,858
資金運用収益	41,193
(うち貸出金利息)	(33,176)
(うち有価証券利息配当金)	(7,794)
役務取引等収益	13,856
その他業務収益	1,892
その他経常収益	20,915
経常費用	66,487
資金調達費用	2,622
(うち預金利息)	(788)
役務取引等費用	3,958
その他業務費用	1,646
営業経費	34,923
その他経常費用	23,337
経常利益	11,371
特別利益	1
特別損失	455
税金等調整前当期純利益	10,917
法人税、住民税及び事業税	5,905
法人税等調整額	△ 363
法人税等合計	5,541
当期純利益	5,376
非支配株主に帰属する当期純利益	31
親会社株主に帰属する当期純利益	5,345

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

当期純利益	5,376
その他の包括利益	△ 10,516
その他有価証券評価差額金	△ 10,361
繰延ヘッジ損益	△ 173
退職給付に係る調整額	18
包括利益	△ 5,140
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△ 5,173
非支配株主に係る包括利益	33

株式情報 (証券コード:8336)

株式のご案内

1 上場証券取引所	東京証券取引所第1部
2 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
3 定時株主総会	毎年6月に開催
4 剰余金の配当	株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受託者、登録株式質権者にお支払いします。
5 中間配当	中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受託者、登録株式質権者にお支払いします。
6 基準日	定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日
7 公告の方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
8 株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 [連絡先]三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1番1号 0120-232-711 (通話料無料) [郵送先]〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 [ご注意]株主さまの住所変更や買取請求等のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっておりますので、ご注意ください。

特別口座に記録された株主さまへ

- 1.特別口座のままでは売買を行うことはできません。証券会社等に株主さまご本人の口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座に振替請求を行ってください。
- 2.特別口座に記録された単元未満株式の買取請求、買増請求、住所変更等のお手続きは、上記の特別口座管理機関にお申し出ください。

株式の状況等 (2019年3月末現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	33,805,456株
(うち自己株式)	271,928株)
株主数	11,145名
単元株式数	100株



ホームページにて株主・投資家向け情報をご案内しております。

<http://www.musashinobank.co.jp/irinfo/>



※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨てての上表示しております。

大株主の状況 (2019年3月末現在) (千株・%)

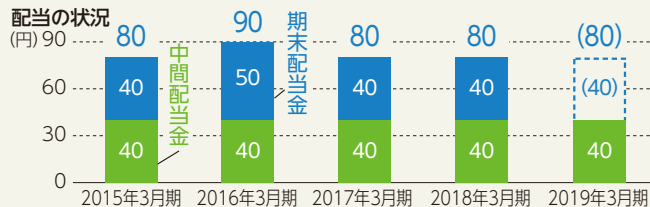
株主名	当行への出資状況	
	持株数等	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,766	8.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,310	3.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,231	3.67
株式会社千葉銀行	925	2.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	848	2.53
明治安田生命保険相互会社	735	2.19
株式会社三菱UFJ銀行	727	2.16
住友生命保険相互会社	702	2.09
武蔵野銀行従業員持株会	686	2.04
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	666	1.98

注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は自己株式(271千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式(38千株)は含まれておりません。

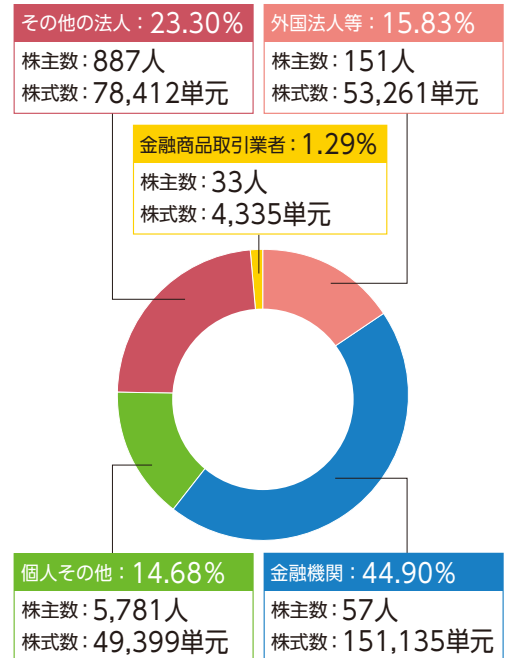
期末配当金のお知らせ

2019年3月期の1株当たり期末配当金は40円(年間配当80円)とする予定です。



※2016年3月期の期末配当金50円には、10円の特別配当が含まれております。

株式の所有者別構成 (2019年3月末現在)



注1. 単元未満株式は、151,256株です。

2. 自己株式271,928株は「個人その他」に2,179単元、単元未満株式に28株含まれております。

3. 「その他の法人」には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が14単元含まれております。

4. 「金融機関」には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式386単元が含まれております。また、単元未満株式に14株が含まれております。

TOPICS 株主さま・投資家の皆さまとのコミュニケーション

当行では株主さま・投資家の皆さまとのコミュニケーションを重視する方針のもと、定時株主総会ほか、機関投資家・アナリスト・個人投資家の皆さまを対象とする会社説明会等を積極的に開催しております。

なお、定時株主総会の開催にあたり、以下の点を実施し、多くの株主さま・投資家の皆さまにご出席いただいております。

- ・招集通知の早期発送
- ・招集通知(英訳含む)の当行ホームページ掲載
- ・議決権行使について書面及び電磁的方法の導入(QRコードを用いた議決権行使等)

今後も多くの株主さま・投資家の皆さまから積極的にご意見等を承り、経営に活かしてまいります。



▲個人投資家の皆さまを対象とした会社説明会を開催(2018年度13会場で開催)

店舗のご案内

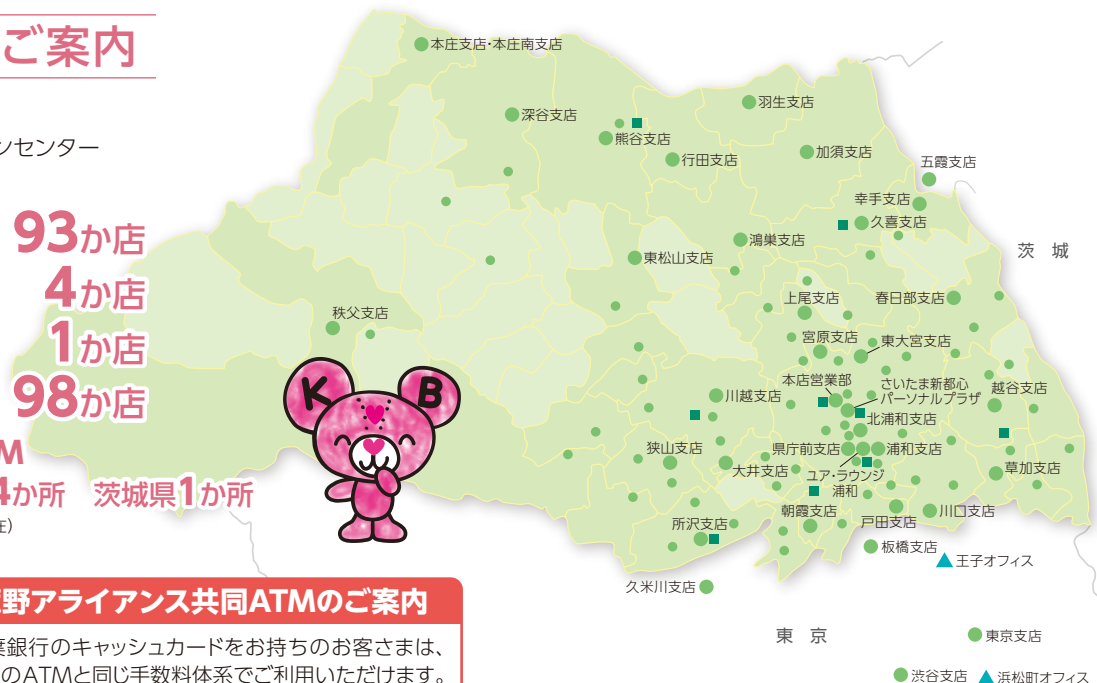
- …営業店
- …住宅ローンセンター
- ▲…オフィス

埼玉県内 **93**か店
東京都 **4**か店
茨城県 **1**か店
計 **98**か店

店舗外ATM

埼玉県**114**か所 茨城県**1**か所

(2019年5月末現在)



千葉・武蔵野アライアンス共同ATMのご案内

当行および千葉銀行のキャッシュカードをお持ちのお客さまは、それぞれの銀行のATMと同じ手数料体系でご利用いただけます。

設置場所 (19か所:2019年5月末現在)



空港・駅

成田国際空港第1ターミナル南ウィング	JR舞浜駅	JR千葉駅西口
成田国際空港第2ターミナル	JR東松戸駅	JR南船橋駅
成田国際空港第1ターミナル中央ビル	JR千葉みなと駅	東京メトロ池袋駅



商業施設・その他

イオンタウン吉川美南	千葉ポートタウン	ヤックスケアタウン千城台
三井アウトレットパーク木更津	ペリエ千葉6階	ホテルニューオータニ幕張
酒々木プレミアムアウトレット	ペリエ千葉ストリート1 1階	



銀行

千葉銀行 成田空港支店内	千葉銀行 成田支店内
--------------	------------



ATM 提携先のご案内

当行のキャッシュカードはコンビニエンスストア等でもご利用いただけます！

ATM提携先	お預入れ	お引出し	お振込み	残高照会
E-netATM イーネットマークのある コンビニエンスストアやスーパー等	○	○	○	○
セブン銀行ATM	○	○	○	○
ローソンATM	○	○	○	○

その他提携先につきましては、当行ホームページをご覧ください。提携先によりご利用条件が異なります。

表紙について

氷川参道(さいたま市大宮区)

氷川参道は、武蔵一宮氷川神社とさいたま新都心を繋ぐ約2kmの並木道です。四季折々の美しさを持つ日本一長い参道は、大宮のシンボルとして地域の皆さまに親しまれています。



ホームページ <http://www.musashinobank.co.jp>

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-333-13 OLSビル TEL.048-641-6111(代)

発行/2019年6月 編集/武蔵野銀行 総合企画部 広報・CSRグループ

本冊子に掲載しております商品・サービス等の詳細につきましてはお近くの営業店窓口へお問い合わせください。



この冊子は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および、再生資源やその他の管理された原材料から作られた、環境配慮型のFSC®認証紙を使用しています。



環境負荷の少ない植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、E3PA(環境保護印刷推進協議会)のゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。